

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年10月25日 (2018.10.25)

【公表番号】特表2017-534262(P2017-534262A)

【公表日】平成29年11月24日 (2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2017-515139(P2017-515139)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 5/0783 (2010.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/17 (2015.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 5/0783

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 35/17 A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 38/02

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 35/76

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月11日 (2018.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 10 のアミノ酸を含むキメラ抗原レセプター分子をコードする核酸分子。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の前記核酸分子を含む発現ベクター。

【請求項 3】

当該発現ベクターはレンチウイルスベクターである、請求項 2 に記載の発現ベクター。

【請求項 4】

前記キメラ抗原レセプターをコードする前記ヌクレオチド配列に先行する G M S C F R a シグナル配列をコードするヌクレオチド配列をさらに含む、請求項 1 に記載の核酸分子

°

【請求項 5】

前記 G M S C F R a シグナル配列が、配列番号 2 のアミノ酸配列を含む、請求項 4 に記載の核酸分子。

【請求項 6】

前記キメラ抗原レセプターをコードする前記ヌクレオチド配列に続く T 2 A リボソームスキップ配列をコードするヌクレオチド配列をさらに含む、請求項 4 に記載の核酸分子。

【請求項 7】

T 2 A リボソームスキップ配列が、配列番号 8 のアミノ酸配列を含む、請求項 6 に記載の核酸分子。

【請求項 8】

請求項 4 に記載の前記核酸分子を含む発現ベクター。

【請求項 9】

前記発現ベクターがレンチウイルスベクターである、請求項 8 に記載の発現ベクター。

【請求項 10】

前記キメラ抗原レセプターをコードする前記ヌクレオチド配列に続く T 2 A リボソームスキップ配列をコードするヌクレオチド配列をさらに含む、請求項 1 に記載の核酸分子。

【請求項 11】

T 2 A リボソームスキップ配列が、配列番号 8 のアミノ酸配列を含む、請求項 10 に記載の核酸分子。

【請求項 12】

前記 T 2 A リボソームスキップ配列をコードする前記ヌクレオチド配列に続く短縮型 C D 1 9 をコードするヌクレオチド配列をさらに含む、請求項 10 に記載の核酸分子。

【請求項 13】

前記短縮型 C D 1 9 が、配列番号 9 のアミノ酸配列を含む、請求項 12 に記載の核酸分子。

【請求項 14】

前記短縮型 C D 1 9 が配列番号 9 のアミノ酸配列からなる、請求項 12 に記載の核酸分子。

【請求項 15】

短縮型 C D 1 9 をコードするヌクレオチド配列をさらに含む、請求項 1 に記載の核酸分子。

【請求項 16】

前記短縮型 C D 1 9 が、配列番号 9 のアミノ酸配列を含む、請求項 15 に記載の核酸分子。